

研究シーズのタイトル

社交不安症者の人的資源に着目した臨床心理学的支援

研究者名

古賀 なな子

所属

人間社会学部

研究シーズの専門分野

臨床心理学

研究シーズのキーワード

社交不安症, セルフヘルプ・グループ, コミュニティ, 援助要請

研究シーズの概要

人と接する場面に不安（社交不安）を感じやすい方は、支援に繋がることにも不安や恐怖を感じるため、一人で悩みを抱えやすいといわれています。そのような方が、どんな経緯で支援に繋がるのか、ご自身の周りの資源をどのように認識されているのか、等について研究をしています。これまで社交不安症の方を含むセルフヘルプ・グループと関わりながら、人が人と繋がってよりよく生きていくための支援について考えてきました。今後、医療機関をはじめ様々な現場の方と連携をしながら、社交不安症の方の人的資源やコミュニティに着目した臨床心理学的支援について考えていきたいと思っています。

研究シーズの適用分野

社交不安のある方は、二次的な心理的問題を抱えてから医療機関を受診することが多いといわれています。医療機関での支援が多いかもしれませんが、教育領域、福祉領域など様々な場面での予防的な介入の必要性を感じていますので、対人援助の現場におられる皆様と幅広く繋がる事が出来ると嬉しいです。